

MCCIR

Vol. 17

株式会社メガチップス
2012年3月期のご報告
2011年4月1日～2012年3月31日

社長が語る業績と戦略

幅広いソリューションを提供する
半導体の総合プロデュース企業として
世界市場を目指します。

Close Up
新製品紹介

省エネ社会に貢献する
世界初の技術を搭載した
通信用LSIを開発

2012年3月期のご報告
2011年4月1日～2012年3月31日

For a society of
more heartfelt communication
Mega Chips

株式会社メガチップス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1番6号 アクロス新大阪
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<http://www.megachips.co.jp/>



この冊子は、FSC® 認証紙および植物油インキを使用しています。
FSC® ロゴマークは Forest Stewardship Council® (森林管理協議会) の基準に適合した森林から
生産されたものであることを示します。責任ある森林管理を実現します。

102-8790

220

東京都千代田区一番町17-6 一番町MSビル3F

株式会社メガチップス
広報グループ 行

料金受取人私郵便

〒2849
麴町支店承認

差出有効期間
平成24年8月
31日まで
(切手不要)



株主様アンケート

お手数ですが、ハガキにご回答の上、ポストへご投函くださいませようお願いします。

株主様のプロフィールをご記入ください。

- 性別：男性 女性
- 年齢：10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～
- 職業：会社員 自営業 公務員 主婦 無職 その他()
- 当社株式保有数：
単元未満(100株未満) 100-199株 200-299株
300-399株 400-499株 500-999株 1,000株以上
- 当社株式保有期間：
1年未満 1年以上3年未満 3年以上5年未満
5年以上10年未満 10年以上
- 居住地：
北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国
九州・沖縄

※ご記入いただいた情報は、アンケート集計以外の目的には使用いたしません。
※2012年7月31日までにご投函ください。



ハガキをご投函の際は、点線にそって切り離してください。

快適な暮らしを。
省エネとともに。

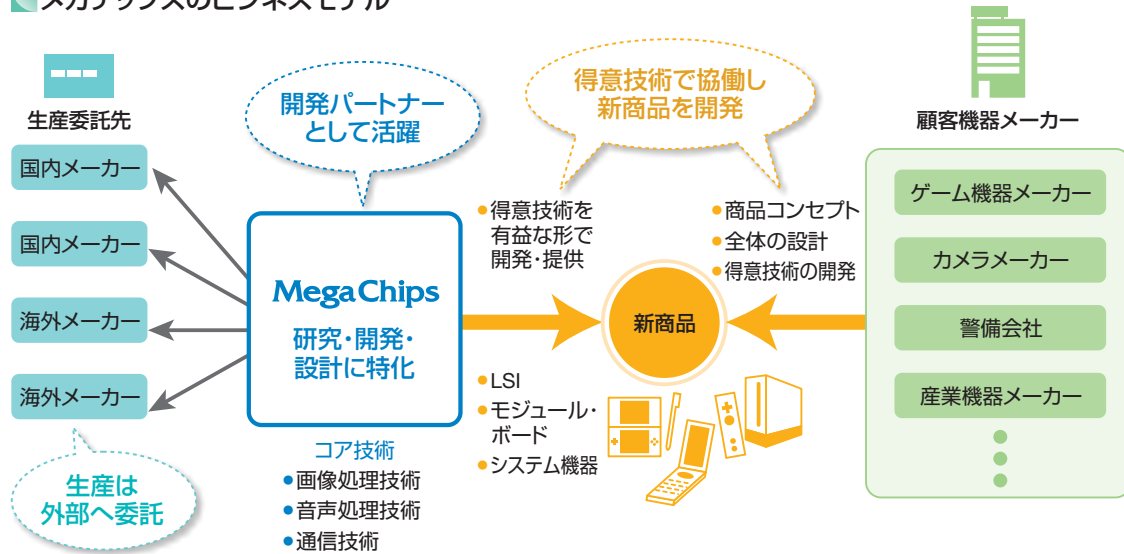
先端の技術を、人と社会の未来のために。

メガチップスは、「高い技術力をベースに、人々の安心や安全、豊かな生活、地球環境維持の実現に貢献する。」ことを使命に、画像・音声・通信分野において独自に開発したシステムLSIやシステム製品を提供してきました。

また、近年の高度情報化社会においては、デジタル機器市場の拡大を背景に、製品の高機能化、多様化が急速に進展しており、これに伴って顧客メーカーからの要請もますます高度化・多様化しています。

当社はこのような社会の変化を的確に捉え、研究開発型ファブレスメーカーである特性を活かし、これまでにない新しい価値の創造と高い技術力により、大手企業では実現できない独創性のある幅広いソリューションを顧客メーカーに提供することで、人々が幸せを実感できる豊かな未来社会づくりに貢献していきます。

メガチップスのビジネスモデル



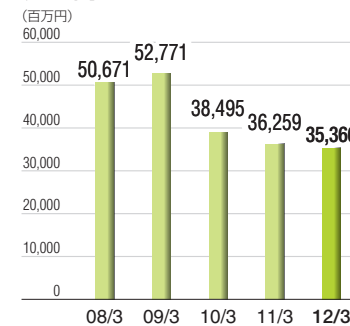
主な開発実績



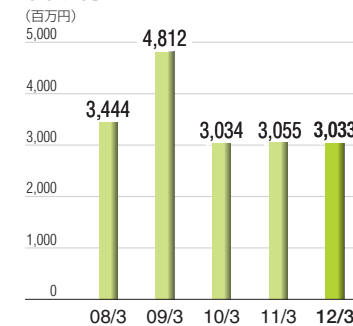
株式会社メガチップスおよび連結子会社
3月31日に終了した連結会計年度

	2008	2009	2010	2011	2012
会計年度 (単位: 百万円)					
売上高	50,671	52,771	38,495	36,259	35,366
売上原価	42,832	43,671	31,833	29,731	28,687
営業利益	3,444	4,812	3,034	3,055	3,033
当期純利益	2,612	2,672	2,140	2,288	2,127
会計年度末 (単位: 百万円)					
総資産	35,329	33,115	26,612	29,203	29,247
純資産	21,436	20,564	24,439	25,453	24,977
1株当たり情報 (単位: 円)					
当期純利益	105.60	110.21	88.19	94.64	88.80
純資産	876.66	849.02	1,006.08	1,060.19	1,042.70
期末発行済株式総数 (単位: 株)	24,904,517	24,667,317	24,353,900	24,038,400	24,038,400

売上高



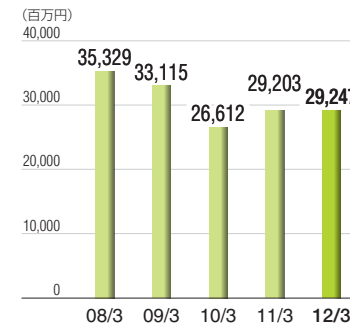
営業利益



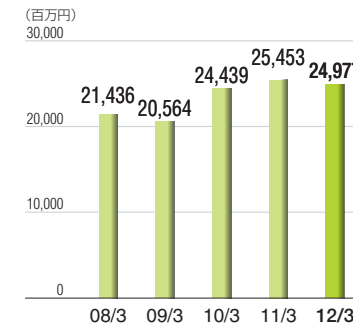
当期純利益



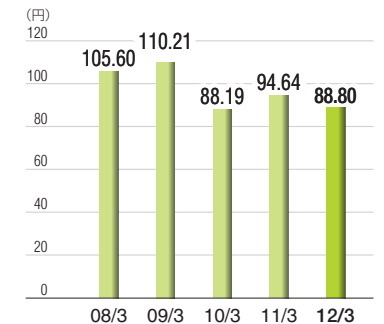
総資産



純資産



1株当たり当期純利益



CONTENTS

プロフィール…………… 1
財務ハイライト…………… 2
社長が語る業績と戦略…………… 3
Close Up 新製品紹介
BlueChip(ブルーチップ) …… 8

研究開発・知的財産戦略…………… 9
CSR活動…………… 10
連結財務諸表…………… 11
IRインフォメーション…………… 12
会社概要／株主メモ…………… 14

見直しに関する注意事項
当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

幅広いソリューションを提供する 半導体の総合プロデュース企業として 世界市場を目指します。

代表取締役社長 高田 明



Q

2012年3月期の業績は？

A

厳しい事業環境の中、減収減益となりましたが、
当社の特長ある技術を活かす
事業を展開しました。

2012年3月期の電子機器業界は、東日本大震災、
タイの大洪水、欧州金融危機、急速な円高などきわ
めて厳しい経済環境の中、半導体などの電子部品や
民生用電子機器の需要が減少し、業界全体の市場は
前年比減という状況で推移しました。

このような状況ではありましたが、デジタル機器
の高機能化、多様化が急速に進展するなど、当社の
活躍の場が拡大する中、高性能の応用特化型メモ
リーやシステムLSI、自社システムLSIを搭載したシス
テム製品など、幅広い製品の開発と販売活動を展開
することができました。

業績は前年比で減収減益となりましたが、セキュリ
ティ分野のデジタル映像監視システムの販売が堅調
であったことや、下半期には主力のゲームソフトウ
ェア格納用LSI（カスタムメモリー）の需要の回復を捉
えて積極的に販売活動を行ったことなどから、売上
高、営業利益、当期純利益とも計画を上回って着地
しました。また、将来の成長につながるデジタルカメ
ラ向けの画像処理技術等の研究開発やLSI製品の開

Q

中長期的な展望は？

A

ワールドワイドにソリューションを
提供する企業として、
世界市場から認知される企業を目指します。

当社が2012年5月に策定した中期の成長戦略で
は、従来からの方針であった「適正なポートフォリオ
の構築」に加え、今回新たに、「ワールドワイドにソ
リューションを提供する企業」として認知されるため

発が、着実に進んだ一年であったと評価しています。

2012年3月期の業績

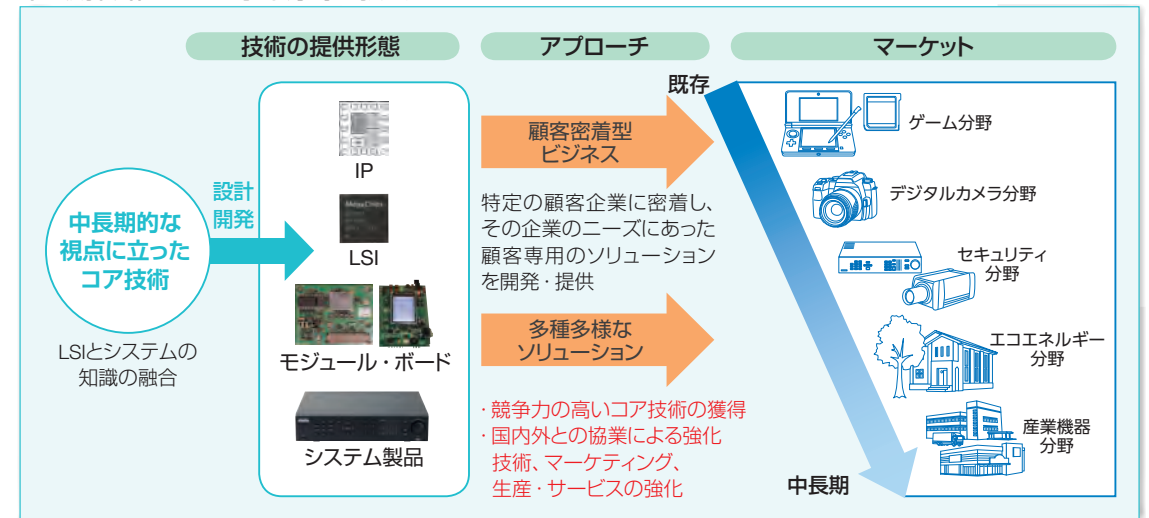
	2012年 3月期	2011年 3月期	増減率
売上高	353億円	362億円	-2.5%
営業利益	30.3億円	30.5億円	-0.7%
当期純利益	21.2億円	22.8億円	-7.0%

の方向性を明確にしました。具体的には、中期成長
戦略の基本方針として次の2つを定めています。

ひとつめの成長戦略は、『既存のコンシューマ分野
における「顧客密着型ビジネス」に加え、エコエネル
ギー分野、産業機器分野のビジネスを育成し、特定
の分野に偏らない適正な事業ポートフォリオの構築
を目指すこと』です。

当社が従来から得意としている「顧客密着型ビジ
ネス」においては、コンシューマ分野を中心に幅広い
分野に対応できる当社の技術力・開発力をより強化
し、引き続き事業基盤の強化を図っていきます。さら
に、新たな成長分野として「エコエネルギー分野」
「産業機器分野」のビジネスに着目し、自社技術・製
品を多数の顧客に提供していきます。例えば「エコ
エネルギー分野」では、2012年3月期に、省エネ社
会に貢献する電力自動測定システムの製品化、また、
無線通信と電力線通信を相互補完的に動かせ通信
品質を向上させるLSI「BlueChip（ブルーチップ）」
を開発しました（⇒本製品はP8にてご紹介）。この製
品は、エネルギー消費を最適化するスマートハウス
のほか、店舗、オフィスや工場への導入も想定され、
エコエネルギー分野を戦略事業と位置付ける当社
の製品として、今後の成長を期待しています。

中長期戦略における事業分野の拡大



このように、当社は事業基盤である「顧客密着型ビジネス」の強化に加え、中長期的な成長を握る「エコエネルギー分野」「産業機器分野」へのビジネスを育成し、適正事業ポートフォリオの構築を目指します。

もうひとつの成長戦略は、『トータルソリューション能力を強化するとともに、グローバルマーケット進出のための体制を整備すること』です。

中長期のさらなる成長のためには、高度化・多様化する顧客の要求に対して、これまで得意としてきた技術開発を主としたソリューションの提供だけでなく、企画、開発から製造・サポートまでの幅広い視点から顧客の要求に最適なソリューションを提供すること、また国内の厳しい経営環境にも成長が左右されないグローバルマーケットへ進出することが不可欠と考えています。当社は、生産や品質に関するサポートを提供できる体制を整備し、企画、開発から製造・サポートまでのトータルソリューション能力を強化することに加え、海外の拠点を整備することで、ワールドワイドなマーケティング力の強化を図り、将来に向けての顧客拡大を目指す考えです。



**川崎マイクロエレクトロニクス(株)を
子会社化する狙いは?**



**両社の強みを統合し、
ワールドワイドに優れた半導体の
総合プロデュース企業を目指します。**

当社は、前述の中期施策の第2項目「トータルソリューション能力の強化とグローバルマーケットへの進出のための体制作り」の一環として、2012年7月

に、JFEホールディングス(株)の100%子会社である川崎マイクロエレクトロニクス(株)(以下、KME)の全株式を取得し、当社の子会社とする予定です。

子会社化にあたっては両社の持つ特長・強みが高いレベルで相互補完的であることが決断の大きなポイントとなりました。両社の事業リソース、技術的優位点を融合することで、新たな成長軸を創出し、世界市場に打って出ることができると判断したものです。

KMEは、通信・画像・情報・OA機器分野において、国内外の有力顧客に設計から製造、組立、テスト・品質保証までを一貫して行っており、当社と同じLSIファブレス(工場を持たない)メーカーの形態をとっています。また、同社は海外においても、米国子会社を将来の基幹技術開発のR&Dセンター、インド支店を開発センター、台湾支店を台湾・中国顧客対応の拠点として広く展開しています。

一方、当社は国内の業界トップの企業をターゲットとしており、LSI製品および、独自のLSIを搭載したシステム製品の研究開発型ファブレスメーカーとして、顧客の製品・サービスを熟知した上で、市場動向を把握・予測し技術・製品を提供することを最大の特長としてきました。特に、画像・音声・通信技術をコアに、開発の上流にあたる分野を得意として、独自の技術によって、システムLSIとこれに関連するソフトウェア、自社開発のLSIを搭載したシステム製品などを展開してきました。

しかしながら、近年、エレクトロニクス分野では技術革新が急速に進み、国内外の顧客の多種多様な課題やニーズに対して、企画・開発から製造・品質保証にいたる幅広い対応能力が求められています。これに対し当社は、成長分野である医療機器、産業機器分野などもターゲットとして視野に入れ、企画・開発から製造、組立、テスト工程まで一貫して強力でサポートができるトータルソリューションの提供能力の強化に取り組んでいます。また、当社がターゲットとする国内の電子機器メーカーが海外での現地開発、現地生産、現地調達を今後さらに進めることが予想されます。このような動きに対応し持続的な成

“ワールドワイドに
ソリューションを提供する企業として
認知される企業を目指していきます。”



長性を確保するため、当社はグローバルな開発生産体制の整備、さらには海外の顧客開拓も成長性確保の上で重要な戦略として位置付けています。この海外展開に向けた体制構築として、国外の顧客基盤を築くためのマーケティング、顧客対応の海外拠点を整備するとともに、グローバルなアライアンスの活用、人材のグローバル化にも積極的に取り組んでいかなばなりません。

このような状況のもとで、海外での開発生産体制をいち早く整備してきたKMEは、幅広い海外ネットワークも有しており、当社が今後必要とする機能、リソースを有効に補完できる絶好のポジションにあったといえます。当社は、この子会社化によって、トータルソリューションの提供が可能で、半導体の総合プロデュース・ファブレスメーカーとなることができると考えています。現在、メガチップスは世界のファブレス半導体メーカーの中でトップ23位に位置しますが、日本の企業でランク入りしているのは当社だけです。私たちは、さらに上位を目指し、日本から世界のメガチップスへと成長を遂げていきたいと考えています。

2011年のファブレスIC企業売上高ランキング

ランキング	国名	企業名
1	アメリカ	Qualcomm
2	アメリカ	Broadcom
3	アメリカ	AMD
4	アメリカ	Nvidia
5	アメリカ	Marvell
6	台湾	MediaTek
7	アメリカ	Xilinx
8	アメリカ	Altera
9	アメリカ	LSI Corp.
10	シンガポール	Avago
11	台湾	MStar
12	台湾	Novatek
13	ヨーロッパ	CSR
14	ヨーロッパ	ST-Ericsson
15	台湾	Realtek
16	中国	HiSilicon
17	中国	Spreadtrum
18	アメリカ	PMC-Sierra
19	台湾	Himax
20	ヨーロッパ	Lantiq
21	ヨーロッパ	Dialog
22	アメリカ	Silicon Labs
23	日本	メガチップス
24	アメリカ	Semtech
25	アメリカ	SMSC

出所：2012年4月、IC Insights社発表による

Q

通期の見通しは？

A

今後の成長のターニングポイントになると確信しています。

2013年3月期は、国内、世界経済ともに引き続き不透明な状況が続く、電子機器業界の市場環境についても厳しい状況が継続すると予想されます。一方で、自動車のエレクトロニクス化やスマートフォン・タブレット端末の需要拡大を受け、一部の電子部品の需要増加が見込まれています。また、通信・放送のデジタル化、多様化が急速に進展する中、さらに高度な情報化社会の実現が予想されています。当社は、「LSIとシステムの知識の融合」をコンセプトに独自の技術力を最大限に発揮し、引き続き、積極的な事業展開を推進していきます。

2013年3月期は、ゲーム機向けシステムLSIやデジタルカメラ向けLSIなどの新製品の量産が見込まれ、一段と収益力に弾みがつき大幅な増収増益となる見込みで、今後の成長のターニングポイントになると確信しています。

なお、KMEの株式取得後の業績に与える具体的な影響および数値は現在精査中のため、現在の2013年3月期計画には含めていません。この影響を含めた2013年3月期の連結業績予想の公表は、第1四半期決算発表の時期（2012年7月下旬）になる見通しです。

Q

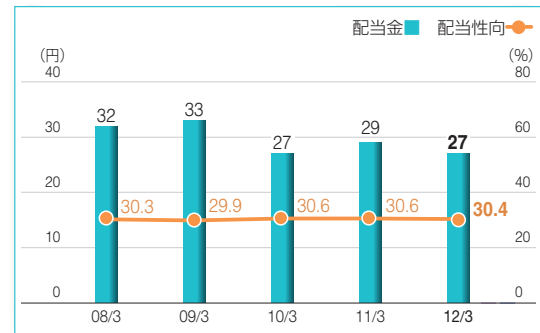
株主還元の方法は？

A

株主還元を経営上の重要課題として、株式価値の向上に努めます。

当社は、株主の皆様への利益還元を、経営上の重要な施策として位置付け、業績に応じた利益還元を努めています。株主配当については、「配当性向30%程度」または「連結純資産配当率（DOE）2%程度」のいずれか高い方を基本に、連結業績、財務状況、投資計画などを考慮して配当金を決定し、年1回実施する方針を掲げています。この方針に基づき、2012年3月期は、1株当たり年間27円（前回は年間29円）の普通配当を実施させていただきました。

配当・配当性向



株主の皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2012年6月

代表取締役社長 高田 明

Close Up
新製品紹介

BlueChip (ブルーチップ)

省エネ社会に貢献する
世界初の技術を搭載した通信用LSIを開発

「電力の見える化」からはじまる省エネ

昨今の節電に対する意識の高まりや、家電製品における省電力製品の普及の中で、家電製品がどの時間帯にどう稼働すれば消費電力が増減するのか、正確に分かっていないという問題があります。そこで電力の消費量を細かく把握する「電力の見える化」を実現することで、そこから実態を反映した正確性の高い省エネ活動を進めることができます。

無線通信と電力線通信による
ハイブリッド通信を実現する「ブルーチップ」

メガチップスでは、より信頼性の高い通信を実現する大規模集積回路 (LSI) 「BlueChip (以下ブルーチップ)」の開発を2011年秋に発表し、現在開発を行っています。ブルーチップは無線通信と電力線通信の2つの機能を備えており、従来の無線通信のみおよび、電力線通信のみを使用した場合ではとぎれてしまう欠点を相互に補完することができます。これにより、安定した通信環境を実現します。

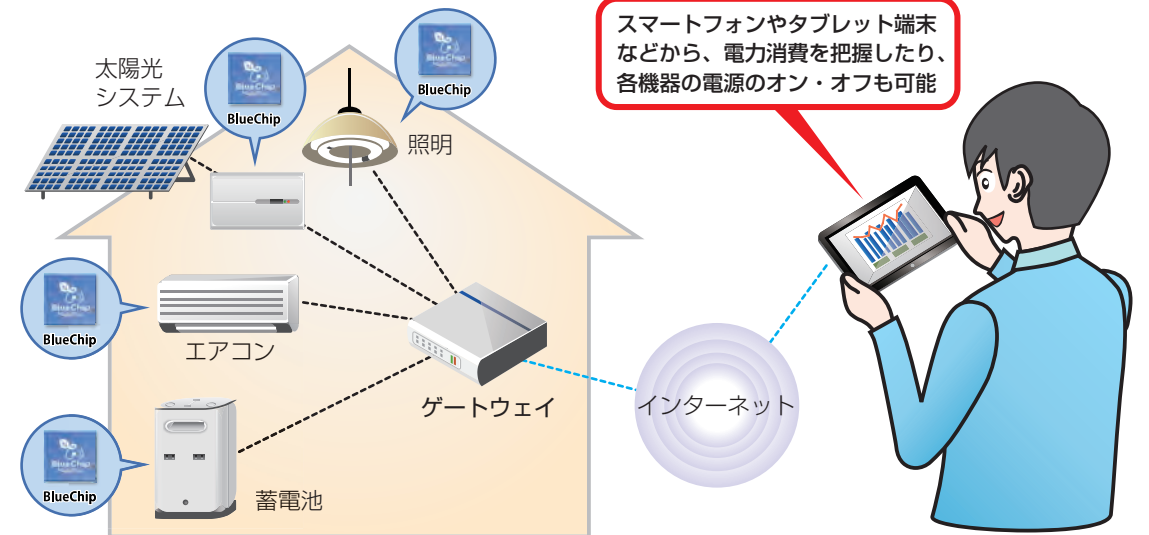
ブルーチップを使って本格的な省エネ社会に

スマートメーター、太陽光システム、蓄電池やその他家電機器にブルーチップを搭載することで、スマートフォンやタブレット端末を使って「電力の見える化」や、一部の機器制御を行える環境を実現できます。例えば外出先から電源のオン・オフを管理したり、省エネに向けてエアコンや照明の自動制御することが可能になります。

さらには、クラウドコンピューティングに各機器の電力量情報を集約することで、例えば複数の拠点の節電のために遠隔操作で電力消費を減らすなどの利用も見込まれ、効果的な節電ができる新システムの普及に大きく貢献できると期待されています。

◆詳細はホームページをご覧ください
ホームページ>製品・サービス>新ネットワーク通信技術
<http://www.megachips.co.jp/product/technology/new01.html>

ブルーチップとインターネットを連携したサービス像

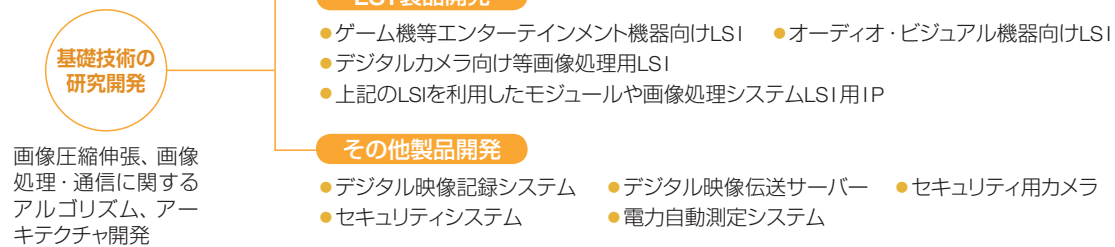


研究開発方針と開発テーマ

研究開発方針

画像・音声・通信分野のシステムLSI、システム製品および当該システム製品を利用したサービスソリューションを提供すること

主な研究開発テーマ



知的財産戦略

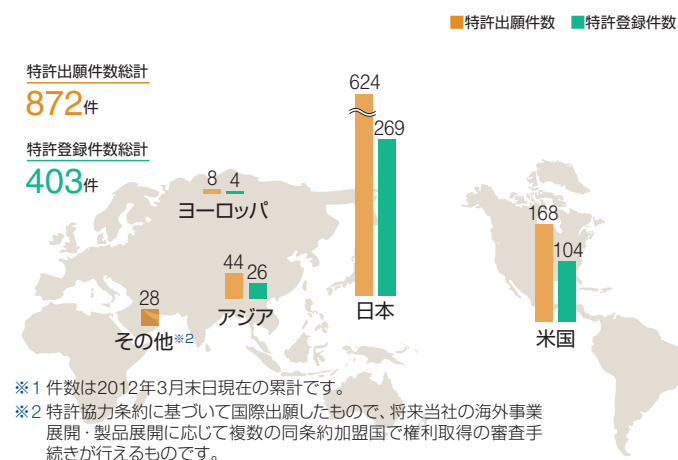
研究開発の成果は、権利として認められ保護されることにより、技術革新が激しい画像・音声・通信分野において、競争優位性を高め、その独自性を確保することができます。

特に、研究開発型ファブレスメーカーである当社は、コアとなる基礎技術を中心とした研究開発段階におけるアイデアやノウハウなどの知的財産が競争優位性の基盤となるため、知的財産の権利化を事業競争力の源泉として位置付け、各事業の戦

略を基に知的財産取得戦略を実行しています。

2012年3月期の取り組みとしては、当社の独自技術であるハイブリッド通信技術およびそれを基にした電力測定システムなどの技術について特許出願を実施しました。また、新たなビジネスのデジタルカメラ向け画像処理回路技術、車載カメラ向け画像認識技術、センサー関連技術の特許出願も実施しました。

世界各地域別の特許出願件数・特許登録件数^{※1}



2012年3月期 特許出願した主要技術一覧

- LSI製品**
 - 半導体メモリーの信頼性向上技術
 - デジタルカメラ向け画像処理回路技術
 - 人物・物体検出アルゴリズム
 - 動画圧縮伸張技術(低遅延、高画質化)
 - センサー関連技術
- その他製品**
 - 監視カメラ関連技術
 - ハイブリッド通信技術
 - 電力測定システム関連技術
 - 照明制御技術

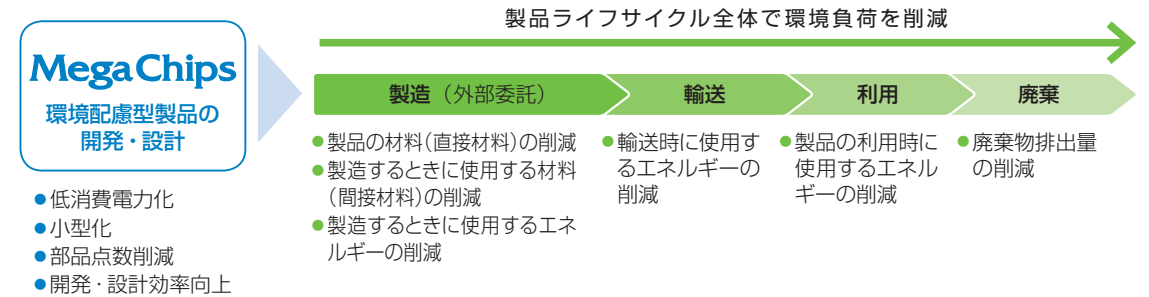
環境保全活動

メガチップスは、より豊かな未来社会を実現するために地球環境保全を推進することが必要不可欠であると考え、「環境と経営の共生」を実現することで地球環境に貢献することを目的に、国際規格ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築しています。

製品の低消費電力化、小型化などに取り組む

「環境配慮、高循環型製品づくり」、当社独自のグリーン調達ガイドラインに基づく「環境負荷化学物質の削減、グリーン調達」、事業所内での省エネルギー、省資源に取り組む「エコオフィス活動の推進」、コンプライアンスとしての「法令、その他要求事項の順守」の環境方針のもと、環境保全活動に取り組んでいます。

●環境配慮型製品の開発による主な環境負荷削減効果



品質保証体制

メガチップスは、外部に生産を委託する「ファブレス方式」と独自の保有技術を基盤とする「テクノロジープラットフォーム型」の事業展開を最大の強みとしています。企画・研究・開発段階から生産・出荷・サービスにいたる全ての業務の品質を向上させ、お客様に満足いただける製品・サービスを

提供するべく、国際規格ISO9001に基づく品質マネジメント体制を構築しています。

顧客満足向上のための改善を実行することで、より高品質な製品・サービスをお客様にお届けする体制を整えています。

2012年3月期の主な社会活動

●学生の起業家教育イベントへの協賛

キャンパスベンチャーグランプリ大阪(CVG大阪)は、毎年開催される関西の学生を対象にした新事業提案コンテストです。当社は、若い起業家の輩出が日本経済の成長につながると考え、開催当初からこのグランプリに協賛しています。第13回のCVG大阪では、当社の取締役が新技術部門の審

査委員を務めました。今後も継続的に協賛していく予定です。



第13回 CVG大阪大会表彰式

連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	当連結 会計年度	前連結 会計年度
	2012年3月31日現在	2011年3月31日現在
資産の部		
流動資産	25,434	23,745
現金及び預金	7,228	7,503
受取手形及び売掛金	15,636	15,159
たな卸資産	1,696	637
その他	873	444
固定資産	3,813	5,457
有形固定資産	83	108
無形固定資産	57	63
投資その他の資産	3,671	5,285
投資有価証券	2,270	4,187
長期前払費用	976	665
その他	424	432
資産合計	29,247	29,203
負債の部		
流動負債	4,231	3,705
支払手形及び買掛金	2,252	1,987
未払法人税等	699	889
賞与引当金	301	282
工事損失引当金	388	49
その他	590	496
固定負債	39	44
負債合計	4,270	3,749
純資産の部		
株主資本	24,876	23,512
資本金	4,840	4,840
資本剰余金	6,181	6,181
利益剰余金	13,967	12,536
自己株式	△ 112	△ 45
その他の包括利益累計額	100	1,940
その他有価証券評価 差額金	708	2,326
為替換算調整勘定	△ 607	△ 385
純資産合計	24,977	25,453
負債純資産合計	29,247	29,203

連結損益及び包括利益計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	当連結 会計年度	前連結 会計年度
	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	35,366	36,259
売上原価	28,687	29,731
売上総利益	6,679	6,528
販売費及び一般管理費	3,645	3,472
営業利益	3,033	3,055
営業外収益	304	324
営業外費用	76	58
経常利益	3,262	3,320
特別利益	199	371
特別損失	1	202
税金等調整前当期純利益	3,460	3,489
法人税等	1,332	1,201
当期純利益	2,127	2,288
その他の包括利益	△ 1,840	△ 188
包括利益	287	2,100
(内訳)親会社株主に 係る包括利益	287	2,100

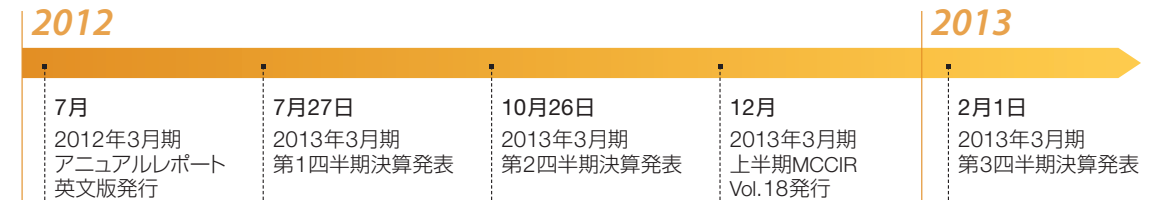
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科目	当連結 会計年度	前連結 会計年度
	2011年4月1日から 2012年3月31日まで	2010年4月1日から 2011年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,032	1,761
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 430	381
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 760	△ 1,080
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 116	△ 44
現金及び現金同等物の 増減額	△ 275	1,017
現金及び現金同等物の 期首残高	7,503	6,485
現金及び現金同等物の 期末残高	7,228	7,503

今後の活動予定(IRカレンダー)

※日程は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



IRサイトリニューアルのお知らせ <http://www.megachips.co.jp/irinfo/index.html>

より使いやすく、よりわかりやすいサイトを目指して、2012年4月に当社のIRサイトをリニューアルしました。今後、コンテンツをより充実させていきますので、ぜひご活用ください。

Point ① IRサイトの使い方

はじめてご利用される方へ、サイトならではの機能を紹介するページを設けています。

Point ③ メガチップスって
どんな会社?

当社の特長をわかりやすく解説した「3分でわかるメガチップス」をはじめ、当社への理解を深めていただけるコンテンツをとりまとめています。



Point ② 最新IRイベント

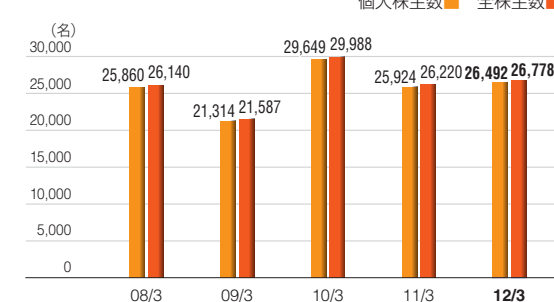
決算発表や株主総会など、IRイベントに関する情報を発信しています。決算発表では、業績や事業に関連するポイント解説、決算短信や機関投資家・アナリスト向けの決算説明会のプレゼンテーション資料など、知りたい情報を1箇所にとりまとめています。

Point ④ IRサイトランキング

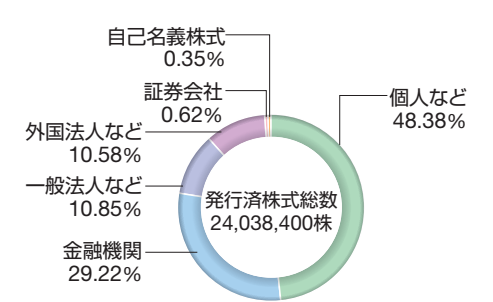
IRサイトの中で、閲覧される数が多い人気ページをランキングしています。

当社の株主構成

株主数推移



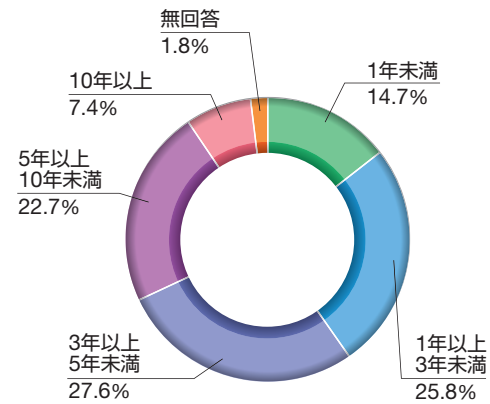
所有者別株式分布 (2012年3月末現在)



■ 株主様アンケート結果報告

「MCCIR Vol.16」誌上のアンケートにおいて、株主の皆様から1,553名のご回答をいただきました。皆様からの貴重なご意見は、今後の経営およびIR活動に活かしてまいります。

Q 当社株式の保有期間は？



ファブレスという経営スタイルに魅力を感じます。

当社は、「研究開発型ファブレスメーカー」としてファブ（工場）にとられず研究開発に資源を集中し、常に先端の技術に注力することで、顧客が求める最新技術を提供し信頼を得ています。この度、同じファブレスメーカーである川崎マイクロエレクトロニクス株式会社と同グループとなることで、グローバルビジネスの展開と事業の拡大を推し進め、世界でも有数なファブレス企業を目指します。詳細はP3-7「社長が語る業績と戦略」をご覧ください。



新製品紹介ページが興味深かった。今後とも新製品開発に期待します。

前回の「新製品紹介」ページは、株主様から「わかりやすかった」「他の技術情報もとり上げて欲しい」とのご意見が多く、当社の技術力への関心が伺えました。

今回もP8にて新製品（技術）の紹介をしており、ウェブサイトでも情報の充実を目指していきます。

■ 2012年度 株主優待について

メガチップスでは、株主の皆様の日頃の温かいご支援に対して感謝の意を表するため、株主優待制度を設けています。

本年も3月31日現在で当社株式を100株（1単元）以上ご所有いただいております株主の皆様へ心ばかりの品を贈呈させていただきます。

本年度は、株式会社高島屋の提供する商品カタログの中から、株主の皆様が希望される商品1点

（3,000円相当）、または任天堂株式会社製ニンテンドー DS®用ソフト、ニンテンドー3DS™専用ソフトの中から1点をご優待品としてお届けします。

メガチップスは株主の皆様への株式価値向上のひとつとして、今後とも株主優待制度を継続したいと考えています。

なお、株主優待ご案内書（優待カタログ）は、本年6月初旬に株主の皆様宛に発送しています。



ニンテンドー3DS・ニンテンドーDSは任天堂の登録商標または商標です。

ご注意

株主優待は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された、100株（1単元）以上のご所有の株主様を対象に行っています。株主名簿は株主様からお届けいただいた情報を基に作成しておりますので、ご転勤などでご住所を変更される場合は、証券会社等口座開設先に必ず住所変更届をご提出ください。（株主優待に関する当社からのご案内書がお届けできない場合が少なからず発生しております。）
なお、株主優待品につきましては、申込受付期日を過ぎますとお受けできなくなりますので、ご注意ください。

会社概要(2012年6月26日現在)

会社商号	株式会社メガチップス	役員	代表取締役社長	高田 明
英文商号	MegaChips Corporation		取締役副社長	林 能昌
事業所	本社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原四丁目1番6号 アクロス新大阪 TEL.06-6399-2884(代表) FAX.06-6399-2886		取締役副社長	松岡 茂樹
	東京営業所 〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル TEL.03-3512-5080 FAX.03-3262-3598		専務取締役	藤井 理之
	1990年4月4日		専務取締役	山内 由紀夫
設立	東証1部(証券コード6875)		取締役	古部 哲生
上場	4,840百万円		取締役	肥川 哲士
資本金	277名(2012年3月31日現在 連結)		取締役	佐々木 元
従業員数	システムLSI、自社システムLSIを使った電子部品およびシステム製品の設計・開発・販売		取締役	水野 博之(社外取締役)
事業内容			常勤監査役	山田 園裕(社外取締役)
			監査役	角 正
			監査役	中西 藤和(社外監査役)
			監査役	小原 望(社外監査役)
			監査役	北野 敬一(社外監査役)

※取締役 水野 博之氏および山田 園裕氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

※監査役 中西 藤和氏、小原 望氏および北野 敬一氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株主メモ

決算日	毎年3月31日	公告の方法	電子公告により行います。
定時株主総会	毎年6月	公告掲載URL	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6875/6875.html
基準日	毎年3月31日	(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)	
配当基準日	毎年3月31日	(ご注意)	
	この他、取締役会の決議により、予め公告して基準日を定めることができます。	1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承るようになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。	
1単元の株式数	100株	2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎします。	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いします。	
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号		
お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話:0120-094-777(通話料無料) 受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00		

IR活動の充実に向け、アンケートにご協力ください

当社は、株主の皆様のご意見をIR活動に反映させることが、コミュニケーションを深めていく上で重要であると考えています。つきましては、**アンケートハガキ**にご回答くださいますよう、よろしくお願いたします。

(2012年7月31日まで受付)

Q1. どこで当社をお知りになりましたか。1つお答えください。

- 新聞 株式・経済情報誌 インターネット
証券会社 会社四季報
その他()

Q2. 当社株式をご購入された理由を教えてください。(複数回答可)

- 成長性 収益性 経営理念 財務体質
配当 優待 その他()

Q3. 投資の際に参考にされている情報源を教えてください。(複数回答可)

- 各社ホームページ 株主通信・事業報告書
アナリシスレポート 新聞 株式・経済情報誌
投資情報ウェブサイト 掲示板サイト
有価証券報告書(四半期報告書) テレビ、ラジオ
証券会社 会社四季報
その他()

Q4. 当社の経営に期待する点について1つお選びください。

- 業績 株面 配当金 株主優待 財務力 環境対策
法令順守 社会貢献 技術力

Q5. 当社ホームページのIR情報はいいかでしたか?

- わかりやすい まあまあわかりやすい 普通
あまりわかりやすいくない わかりにくい まだ見ていない
インターネット環境がない

Q6. 当社に対するご意見ご要望をお聞かせください。

アンケートにご協力いただきありがとうございます。